



令和6年度に新たに開校した高岡市立五位小学校

先の総会で36地区の連合自治会からのご推挙により、2期目の会長職を務めることとなりました。引き続き、皆様と一緒に住民が安心して暮らすことのできる地域づくりに取り組みたいと思いますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年1月1日に発生した能登半島地震では、高岡市も深刻な被害を受けました。被災された全ての皆様に心からお見舞いを申し上げます。本会としては、能登半島地震や近年の豪雨災害を経験し、行政と連携しながら、地域の防災体制の強化を図っていくこととしました。災害時に地域内で住民が協力するためには、日ごろの住民の関係性が重要です。新型コロナによって、地域の関係の希薄化が危ぶまれるなか、防災の取り組みを通して、今一度、住



## 会長あいさつ

高岡市連合自治会  
会長 角玄 富雄

民同士のつながりを大切にしたいです。

また、昨今、地域活動の担い手不足が問題となっており、人口減少や高齢化の影響は避けることができません。既存のやり方では、地域活動を維持していくことが困難であり、新しいやり方を積極的に取り入れていかなければなりません。各種団体との連携・協力強化を進めながら、多機能地域自治の導入や、スマートフォンアプリ「結ネット」の効果的な活用などの取り組みを各地域に広げていくことで、地域活動の効率化と負担軽減を推進してまいります。

本会は、これからも住民の皆様へ寄り添いながら、歩みを進めてまいります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。まして、挨拶といたします。

## 役員・会員の紹介 (令和6年度)

- |                      |                          |                      |                      |                       |                         |
|----------------------|--------------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-------------------------|
| <br>会長<br>角玄 富雄(戸出)  | <br>副会長(総務)<br>宇波真一郎(定塚) | <br>副会長<br>矢竹 有至(福岡) | <br>副会長<br>藤田 晴久(西条) | <br>副会長<br>増井 俊一(太田)  | <br>理事(会計)<br>森田 和夫(福田) |
| <br>理事<br>中井 隆行(二上)  | <br>理事<br>橋本 善明(能町)      | <br>理事★<br>腰 雅信(野村)  | <br>理事<br>小栗 久雄(二塚)  | <br>理事<br>月安 幸三(木津)   | <br>理事<br>杉本 孝之(国吉)     |
| <br>理事<br>坂 廣志(伏木)   | <br>監事<br>前田 義弘(東五位)     | <br>監事○<br>道谷 悦一(中田) | <br>監事★<br>村上 祐崇(大滝) | <br>相談役<br>杉江 幸男      | <br>相談役<br>浦田 一郎        |
| <br>会員<br>和田 徹(平米)   | <br>会員<br>北林 和正(下関)      | <br>会員★<br>鍋谷 博秀(博勢) | <br>会員<br>西田 公信(横田)  | <br>会員★<br>三本松誠身(川原)  | <br>会員<br>牧 隆(成美)       |
| <br>会員<br>関口 謙(佐野)   | <br>会員★<br>水上 哲(小勢)      | <br>会員<br>伏江 努(立野)   | <br>会員<br>橋 信一(石堤)   | <br>会員<br>江守 裕(牧野)    | <br>会員<br>牧野 光男(古府)     |
| <br>会員★<br>玉井 邦昭(北畠) | <br>会員★<br>奥村 茂夫(堤戸)     | <br>会員<br>永原 博(山王)   | <br>会員<br>小崎 直之(西五位) | <br>会員★<br>新畑 紀夫(伍位山) | <br>会員★<br>小山 孝一(赤丸)    |

○印は新役員  
★印は新会員

## 編集後記

去る5月29日に、高岡市連合自治会定期総会が開催されました。今年度は能登半島地震及び近年の豪雨災害での対応について検証・見直しを行い、自主防災組織が中心となって、地域の防災体制の強化を図ることを重点事業としました。役員・会員一同、住民が安心して暮らすことのできる地域を目指して取り組んでまいります。

◆本稿では、地域活性化の取り組み事例として、多機能地域自治、地域交通についてご紹介しました。各地域でも、自ら課題解決を行うために、これらの事例を参考にしたいです。

◆結びに、ご多忙の折、取材等に応じていただきました方々に深く感謝申し上げます。

編集委員 藤田 晴久(記)  
中井 隆行  
月安 幸三  
前田 義弘

# 令和6年度 定期総会の開催

5月29日、ホテルニューオータニ高岡において本年度定期総会が開催されました。

総会では、令和5年度事業報告・収支決算報告、役員改選、令和6年度事業計画(案)・収支予算(案)、会則の改定(案)が審議され、原案どおり承認されました。

令和5年度の主な活動内容及び令和6年度の事業計画は次のとおりです。

## 令和5年度に実施した主な事業

- ・定期総会開催 (5月)
- ・市当局との懇談会 (8月)
- ・「市連自治会だより」発行 (9月)
- ・県西部地域自治会長意見交換会 (10月)
- ・7月大雨被害に関するアンケート調査 (10月)
- ・県外研修視察 (11月)
- ・高岡市に対する要望書提出 (11月)
- ・富山県知事に対する要望書提出 (12月)
- ・議会傍聴(高岡市議会12月定例会) (12月)
- ・危機管理課との意見交換会 (12月)
- ・議会傍聴(高岡市議会3月定例会) (3月)
- ・能登半島地震に関するアンケート調査 (3月)
- ・能登半島地震に関する高岡市への寄付金、石川県、氷見市への義援金贈呈 (3月)

## 令和6年度の主な事業計画

- I 高岡市連合自治会は、市勢の発展と住民が安心して暮らすことのできる地域社会づくり

### 地域課題に挑む 特集②

## 棚卸しから多機能組織づくり

牧野校下連合自治会長 江守 裕

自治会や各種団体が抱える役員不足や活動の多さ等の課題を解決するため、多機能地域自治導入を決めました。はじめは多機能地域自治がどういったものか見えないところからのスタートでした。



まず、自治会・各種団体の協力のもと、地域活動を整理して一覧にまとめる「棚卸し」から始めました。報告会の参加者からは、「同様な仕事はまとめられそう」「他団体の活動を知ることができた」「地域のことを話す機会を今後定期的にやってほしい」と前向きな意見も聞かれました。

当初は、多機能地域自治とは何かわからなかったわけですが、勉強会や座談会を何回か重ねるうちに、自由に住民同士が意見を述べられる場を作り、自治会や各種団体が硬直化して出来ていない活動を補助する役割を担っていくのが牧野スタイルの多機能地域自治だと思ふようになってきました。

報告会や座談会には、PTAや若手の自治会役員に積極的に声をかけており、若い方の意見を聞くことで、地域の一体感が生まれてきていると感じます。若い方と話す、意見を聞くことが地域づくりの最大の活力だと身にしみて思います。今後も「できることからまずやってみる」をモットーに、一つでも二つでも前へ進めるよう、令和6年度末の組織の設立を目標にもうひと頑張りです。

に寄与するため、各地区連合自治会の連携を基に、行政及び関係団体との相互協力・協力を図り、少子高齢の進展に危機感を持ちながら持続可能な地域活動を目指して、次の取り組みを行います。

### II 事業内容

- ① 防災体制の強化
- ② 高岡の魅力を活かしたまちづくりへの提言
- ③ 防犯・交通安全の推進
- ④ 地域福祉の増進
- ⑤ 環境保全・美化運動の促進
- ⑥ 持続可能な地域活動の実現に向けた取り組み

## 荣誉に輝く

### ■富山県部門功労表彰

角玄 富雄 氏(戸出)

### ■市民功労者表彰

- 矢竹 有至 氏(福岡)
- 月安 幸三 氏(木津)
- 山本 睦男 氏(北般若)
- 坂 廣志 氏(伏木)
- 古國府信二 氏(博労)
- 上田 義一 氏(是戸)
- 杉本 進 氏(立野)

### ■富山県自治会連合会会長表彰

- 大庭 和之 氏(野村)
- 山本 睦男 氏(北般若)
- 出口 勇 氏(大滝)
- 古國府信二 氏(博労)
- 下山 實 氏(川原)
- 広地 功信 氏(小勢)
- 上田 義一 氏(是戸)
- 山崎 久栄 氏(赤丸)

### 地域課題に挑む 特集③

## 新・公共交通サービス「木津ぐるりんバス」について

木津校下自治連合会長 月安 幸三

木津校下では、令和4年度に木津みらい会議と称して、多くの地域住民に参画いただきながら、木津の将来像について話し合いました。100を超えるアイデアが出され検討した結果、特に要望の多かった地域バス「木津ぐるりんバス」に取り組みことにしました。



これまで住民アンケートによりニーズを把握し、地域内で何回も会合を重ね、実証運行も行い、7月1日本格運行させることとなりました。

この「木津ぐるりんバス」は、木津校下内のスパーの利用や通院などのほか、高岡やぶなみ駅を経由して通勤・通学・行楽にも利用していただくことが可能であり、地域の皆様の活動範囲が広がればと考えています。木津校下の皆様には一部負担もありませんが、市からの補助もあり、利用者には100円を支払っていただくことにより、長く継続出来るものとなりました。

この「木津ぐるりんバス」により、木津校下がますます利便性のある住み良い地区になることを願っています。



### 地域課題に挑む 特集①

## なぜ多機能自治なのか？

福田地区自治振興会長 森田 和夫



私は、少子高齢化や地域内のつながりの希薄化、後継者不足など、様々な問題が山積している中で、自治会活動や地域活動のあり方に危機感を持っていました。個々にある縦割りで連携の無い組織、重複する行事や企画など：何か改善する方策はないかと考えていた時に知ったのが「多機能地域自治」でした。現在、総務省のアドバイザーでもある斎藤先生の協力を得ながら、令和6年度末の組織の設立に向けて取り組んでいます。

まずは、地域に住む皆さんの意見や考えを知り、今後の活動に反映することを目的に、中学生以上を対象とした住民アンケート調査を実施しました。約8割に当たる1,684通もの回答を頂き、斎藤先生も「驚異的な回収率」と驚くほどで、皆さんの関心の深さ、地域への熱い思いに心を打たれました。「これからの地域づくりで大切なことは」など、普段は聞くことができない広範囲にわたる設問で、回答も思わずうなずいてしまうものや意外に思うものなどがあり、自分よりの考えを見直さなければと感じたところです。

昨年末にはアンケート結果の概要版の冊子を全戸に配布し、今年は年代別・性別に分けたフリートークン方式の座談会を開催しています。それらの意見を踏まえ、住民ファーストを基本とし、現組織を四つの部に統合し「ムリ・ムダ」を無くしながら、効果的な活動をしていきたいと思っています。地域の皆さんが「福田に生まれ・育つてヨカッタナ」と思ってもらえるよう、力を合せて進めていきます。

### 地域課題に挑む 特集④

## 新・公共交通サービス「のむたく」について

野村地区連合自治会長 腰 雅信



「のむたく」は、野村地区まちづくり協議会が実施主体の地域タクシーです。高齢者をはじめとする野村地区にお住まいの方々を対象とし、あらかじめ設定された時刻と停留所の中から、利用したい時刻と停留所を事前に予約して利用する乗合タクシーです。

本格運行に至るまで、地区でどの程度の需要があるか実証運行を行うなど様々な検討を行いました。

本格運行では、会員登録と年会費の導入や、LINEによる予約方法の追加、利用料金の見直しを行いました。

今後は、「のむたく」をより多くの人に知ってもらうために広報活動を行い、利用促進に取り組めます。地区にお住まいの方々が「のむたく」に乗って元気に外出してもらい、活気あふれる野村となるよう安全・安心に暮らし続ける環境の整備に取り組んでまいります。

### 義援金募金総額

1646万3918円

- 寄付先
- ・高岡市 1146万3918円
- ・石川県 300万円
- ・氷見市 200万円